

社会系（地理歴史） 教科指導法

第11-12講 授業の開発法②

—「学問の説」「子どもの説」の探究を
支援する足場架け—

より「良い」授業を作るために、私にできることは何だろう？

I 授業開発の 代表的なアプローチ (1)

子どもの見方を
予想・調査する

科学者の見方を
理解・調査する

教科書を読んで
扱いたい主題を選ぶ

資料・データを集めて
使い方を決める

目標と学習課題
(MQ)を定める

この授業ならではの
準備
ワイルドカード

授業づくりのプロセス

教科書で扱うべきテーマを確定する

(見開きを単位にして対象の本質に迫りうる出来事・問題)

学問の説を探究させる授業づくり

- (1) 専門書を読み込んで、学習対象に対する科学者の視点・成果を構造化(上位-下位, 最新-古典)し,
- (2) 学説を探究させる学習課題(MQ)を確定する
- (3) 学習課題に対する子どもの見方=仮説を想定する
- (4) 子どもの見方=仮説を揺さぶったり, 新たに仮説をつくり, 検証させるための資料を探す

Ⅱ 授業開発の 代表的なアプローチ (2)

子どもの見方を
予想・調査する

科学者の見方を
理解・調査する

教科書を読んで
扱いたい主題を選ぶ

資料・データを集めて
使い方を決める

目標と学習課題
(MQ)を定める

この授業ならではの
準備
ワイルドカード

授業づくりのプロセス

教科書で扱うべきテーマを確定する

(小単元全体を通して対象の本質に迫りうる出来事・問題)

子どもの説を探究させる授業づくり

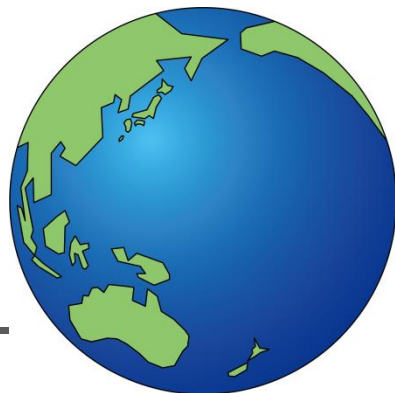
- (1) **子ども**の素朴な疑問や固定観念を調査し、
- (2) **多様な・対立する解釈**を引き出せる**資料**を確定する
- (3) 資料を理解するための**学習課題 (MQ)**を確定する。課題に対する**個性的な見方=主張**をもつ子どもを特定する
- (4) **子どもの見方=主張**のずれを調停し、合意を形成していく
根拠となる**専門家の理論**を採す



演習課題 I

そもそも学習対象に対するレリバンスが弱い場合, どうしたらいいの?

- (1) 「貿易ゲーム」を体験してみよう
- (2) このアプローチは, 学問の説・子どもの説を探究させる授業開発では**至らないところ**を, どのように補っているか
- (3) このアプローチでこそ**可能**となることと, 逆に**妨げ**となることは何だろう



	生産タイム	換金タイム	
第1ターム	10:55-11:05	11:05から1分	
第2ターム	11:05-11:15	11:15から1分	
第3ターム	11:15-11:25	11:25から1分	
第4ターム	11:25-11:35	11:35から1分	
第5ターム	11:35-11:40	11:40から3分	精算の実施

- 作った製品は第5ターム終了時までには必ず換金する
- どのタイミングで換金するかは、チームの判断に任せます
- **ゴミは散らかさないように、必ず手元に保管しておこう**
- 第5タームが終了したら、素早く手持ちの資金を計算しよう



国名	銀行換金額	終了時資産額	精算後資産額	順位
アメリカ	219000	235000		
日本	55000	54000	0	
ドイツ	218000	174600	0	
イギリス	186000	202000	0	
ブラジル	45000	48000	0	
ロシア	60000	87000	0	
インド	172000	176000	0	
中国	128000	280000	0	
ミャンマー	15000	36000	0	
コロンビア	37000	38000	0	
ルワンダ	8000	6400	0	
ソマリア	0	1000	0	

Ⅲ 授業開発の

代表的なアプローチ (3)

授業づくりのプロセス

教科書で扱うべきテーマを確定する

(個人的なレリバン스는低いが、社会的には高い現象や課題)

学習対象に架け橋をかける授業づくり

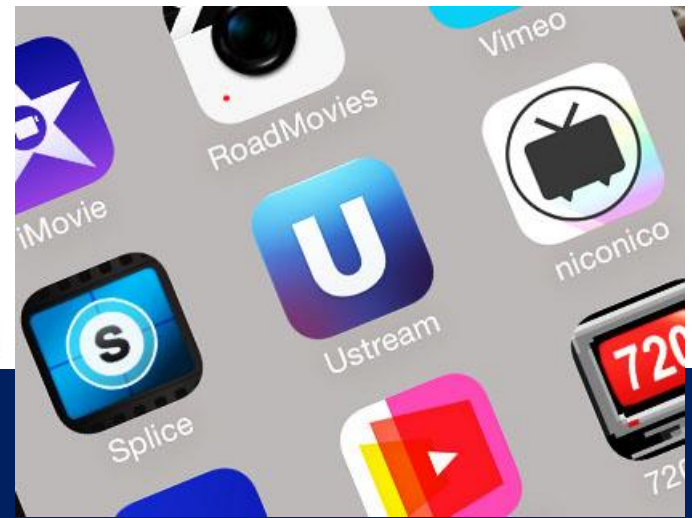
- (1) 現実社会の切実な問題を単純化・モデル化する
- (2) 現実社会に切実な問題を引き起こしている社会的行動を学習課題(MQ)「●●しよう!」として設定する
- (3) 行動後, 行動時の感情や意味をリフレクションさせる
- (4) 切実な問題に対する科学者の見方を確定し, 現実社会をリアルに描いた資料・データに基づいて検証させる



演習課題2

資料を読んで、
「かがみやま映像フェスティバル」への
ノミネート作品(2-5分)を作成しよう
所定One Driveにアップ→ 7/22 17時締切

- (1) 三本松小学校の実践…左
- (2) 棚橋先生が提案する実践…中左
- (3) 岩下先生, 桑原先生の意見…中右
- (4) 谷先生の提案…右



例えば、

- 池上さんの解説番組風
- アメトーク風, ひな壇芸人トーク風
- タカラヅカの演劇風, 大河ドラマの時代劇風
- E-テレの教養番組風
- アっ子にお任せ, ミヤネ屋のパネルトーク風
- 田原総一郎の討論番組風
- 劇団ひとり, モノログ風

→ 来週は草原とTAが選ぶ”授業研究 (lesson study)”の意味が
よく理解できる優秀作品を視聴します。評価基準は👉